

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ハイテク・ソリューション平塚工場敷地内増築工事 RF一貫生産棟	階数	地上3F
建設地	神奈川県平塚市西八幡1丁目99-3外49番	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	平均居住人員	250 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年10月5日
敷地面積	6,174 m ²	作成者	戸田建設株式会社横浜設計室一級建築士事務所
建築面積	2,386 m ²	確認日	2023年10月12日
延床面積	5,388 m ²	確認者	戸田建設株式会社横浜設計室一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 46 (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 157%

③上記+②以外の: 55%

④上記+: 55%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合 神奈川県平塚市に計画された工場である。既存棟と調和し、正門及び全面道路からの見え方にも考慮した外観デザインとした。		特になし
Q1 室内環境 開口部遮音性能: T-2以上。2.5% ≤ [昼光率]。JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。窓が開閉可能な居室において、自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上。ビル全体の禁煙が確認されている。	Q2 サービス性能 執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機等の設置。主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。階高: 3.9m以上。0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3。	Q3 室外環境(敷地内) ・全国のパイロット工場から、各県の象徴となる植物を寄贈され、敷地内に植栽を行っている。 ・全長約350メートルのバラの生垣を設置し、良好なまちなみを形成している。
LR1 エネルギー [BEI] = 0.00。LED照明の採用により、エネルギー使用量削減に配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどに加えて、省水型機器(例えば擬音、節水型便器など)などを用いている。躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率: 55%。「光害対策ガイドライン」のチェックリストを一部満たし、広告物照明は行っていない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される